

生涯発達看護学講座

母性看護・助産学領域

原著論文

- 1 中里有加, 石丸 絢, 藤岡(田中)奈美: 出産後の母乳育児状況と授乳トラブルへのセルフケア— 1 施設における産後 6 か月間の縦断調査から, 母性衛生, 65(1): 98-104, 2024, 4.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *Emi Nagano, Nami Tanaka, Kanae Tani, Katuyo Ishibashi, Akira Tsuda: Analysis of the Difficulties Faced by Nurses in Preventive Care for Children with Medical Complexity Using Text Mining: Focusing on Medical Device-Related Pressure Ulcers. National and International academic Conference of 2024. 23-25 January 2024.

国内全国規模の学会

- 1 ○佐藤珠美, 中野理佳: 非妊時尿失禁経験者の妊娠から産後12か月までの尿失禁の保有状況と特徴. 日本助産学会. 2024, 10, 5-6.
- 2 ○佐藤珠美, 坂本飛鳥, 中野理佳: 乳児の抱っこに伴う不良姿勢と QOL. 日本母性衛生学会. 2024, 10, 18-19.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
准教授	中野 理佳	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	母親の抱っこ時の身体不調を 予防するための遠隔姿勢評 価・支援システムの開発	200

小児看護学領域

著 書

- 1 鈴木智恵子: 小児看護学の教育 DX 化に伴う技術教材の教育的意義. 小児看護 巻頭ページ, 2024, 4, 医学書院, 東京.

原著論文

- 1 米満 潔, 菊原美緒, 中野理佳, 榎原 愛, 佐藤珠美, 大坪美由紀, 鈴木智恵子: 看護分野における, 高度なデジタルコンテンツ制作技術を必要としない VR 教材制作手法の提案. 佐賀大学全学教育機構紀要. 2024, 4.
- 2 山津幸司, 鈴木智恵子: 災害避難所への一時的な宿泊が睡眠に及ぼす影響: ウェアラブル端末を用いた探索的研究. 九州地区国立大学教育系・文系研究論文集, 2024, 1.

総 説

- 1 松本 恵, 佐々木規子, 岩井美奈代, 大畑尚子, 川野純子, 川野奈々江, 柊中智恵子, 鈴木智恵子, 田浦裕三子, 塚谷延枝: 地域活性化委員会九州・沖縄地区の活動報告, 日本遺伝カウンセリング学

会, Jul-24.

学会発表

国際規模の学会

- 1 佐藤 彩, 鈴木智恵子, 鈴木礼子: スクリーンタイムと朝食欠食及び日本型食生活～佐賀県の学童における横断研究～. 日本体力医学会. 2024, 9.
- 2 岡村祐一, 鈴木智恵子, 矢田幸博: 離島在住高齢女性を対象としたサルコペニア調査からみえてきた判定基準の課題. 日本体力医学会. 2024, 9.

国内全国規模の学会

- 1 大坪美由紀, 高橋浩一郎, 在津正文, 鈴木智恵子: アレルギー疾患の移行支援に関する医療従事者の認識調査. 第73回日本アレルギー学会学術大会. 2024, 10, 18-20.
- 2 ○米満 潔, 大坪美由紀, 鈴木智恵子, 菊原美緒, 田仲浩平: 0次元コンピュータグラフィックスを専門としない教職員等に向けたデジタルツイン構築方法の考察. 教育システム情報学会. 2024, 8.
- 3 ○米満 潔, 大坪美由紀, 鈴木智恵子, 菊原美緒, 田仲浩平: 1次元コンピュータグラフィックスを専門としない教職員等に向けたデジタルツイン構築方法の考察. 教育システム情報学会. 2024, 8.
- 4 菊原美緒, 木村莉理, 豊崎駿佑, 宇治田さおり, 鈴木智恵子, 米満 潔, 田仲浩平, 小松川浩: ゴールベースシナリオを用いた看護教育の文献検討. 第17回 IT ヘルスケア学会学術大会. 2024, 8, 31.
- 5 佐藤 彩, 佐藤ゆき, 鈴木智恵子, 鈴木礼子: 睡眠時間, 起床時刻, 就寝時刻と朝食欠食及び日本型食生活～佐賀県の学童における横断研究. 第78回日本体力医学会. 2024, 9, 3.
- 6 佐藤 彩, 鈴木智恵子, 鈴木礼子: スクリーンタイムと朝食欠食及び日本型食生活～佐賀県の学童における横断研究～. 日本公衆衛生学会. 2024, 10, 31.
- 7 岡村祐一, 鈴木智恵子, 矢田幸博: 離島在住高齢女性を対象としたサルコペニア調査からみえてきた判定基準の課題. 第78回日本体力医学会. 2024, 9, 2.
- 8 鈴木智恵子, 米満 清, 菊原美緒, 合田友美, 田仲浩平, ウイリアムソン彰子, 水戸優子, 本間典子, 高島真美, 鮫島輝美: 「看護に役立つデジタル技術～デジタルって何だろう?」. 日本看護科学学会学術大会テーマセッション. 2024, 12.
- 9 鮫島輝美, 合田友美, 本間典子, 菊原美緒, 水戸優子, 鈴木智恵子, 高島真美, 田仲浩平, ウイリアムソン彰子, 米満 潔: 医療技術教育における AR 教材・VR 教材が開く新たな教育演習空間の発見. 日本看護科学学会学術大会ポスター発表. 2024, 12.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
助 教	大坪美由紀	文科省科学研究費	基盤研究(C)	1	気管支喘息のトランジションに向けた教育支援プログラム開発と検証	100
助 教	大坪美由紀	令和5年度河川砂防技術研究開発公募河川技術／流域管理分野	【提案型課題(流域課題)】	1	早期避難ができる住民への行動変容と避難所における住民へのサポートができる人材育成のためのXR教育プログラム構築	2,950
助 教	大坪美由紀	文科省科学研究費	基盤研究(C)	2	XRを用いた災害支援ができる看護人材育成プログラム構築	50
助 教	大坪美由紀	TSUNAGI プロジェクト		2	女子中学生アスリート支援プロジェクト研究	1,297
教 授	鈴木智恵子	文科省科学研究費	基盤研究(C)	1	気管支喘息のトランジションに向けた教育支援プログラム開発と検証	70
教 授	鈴木智恵子	令和5年度河川砂防技術研究開発公募河川技術／流域管理分野	【提案型課題(流域課題)】	1	早期避難ができる住民への行動変容と避難所における住民へのサポートができる人材育成のためのXR教育プログラム構築	295
教 授	鈴木智恵子	文科省科学研究費	基盤研究(C)	1	XRを用いた災害支援ができる看護人材育成プログラム構築	760
教 授	鈴木智恵子	文科省科学研究費	基盤研究(B)	2	教育DX化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ	250
教 授	鈴木智恵子	文科省科学研究費	基盤研究(C)	2	XR(仮想空間技術)を活用した虐待予防教育プログラムの開発	70
教 授	鈴木智恵子	JST研究成果展開事業(企業化開発・ベンチャー支援・出資)大学発新産業創出基金事業可能性検証 企業挑戦		1	効率的な災害看護教育実施のためのXR技術の応用による教育システム開発とその事業可能性検証	3,000

急性期看護学領域（看護学教育研究支援センターを含む）

原著論文

- 1 山田春奈, 古賀明美, 川久保 愛, 武富由美子: プレホスピタルケアに従事する看護師の首尾一貫感覚と多職種連携の実践能力との関連. 日本看護研究学会雑誌, 46(5), 839-847, 2024, 1.
- 2 川久保 愛, 古賀明美, 江口有一郎: 看護教員による肝炎医療コーディネーター研修を活かした「慢性肝疾患患者への看護」に関する講義の教育効果. 肝臓, 65(4): 172-178, 2024, 4.
- 3 ○永渕美樹, 藤井純子, 南里 穂, 安西慶三, 古賀明美: 佐賀県糖尿病コーディネート看護師の育成と活動の実際. 日本糖尿病教育・看護学会誌, 28(2): 85-91, 2024, 9.
- 4 ○石橋幸子, 祖川倫太郎, 緒方健二, 松岡綾華, 山田春奈, 平地 徹, 溝口義人, 門司 晃, 島ノ江千里: Association Between Antidiabetic Drugs and Delirium: A Study Based on the Adverse Drug Event Reporting Database in Japan. Clinical drug investigation, 44(2): 115-120, 2024, 2.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Takedomi Y, Tabuchi Y, Kumagai Y, Sakamoto M: Perceptions of the Role of Cancer Consultants at Regional Consultation Support Centers. 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EA-FONS). 2024, 3, 6-7. 2024EAFONS Programme Book Abstract No. 1138.

国内全国規模の学会

- 1 武富由美子, 古賀明美, 川久保 愛, 松尾照美, 山田春奈: 重症患者の客観的睡眠評価における携帯型1チャンネル脳波計の有用性: 予備調査研究. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.
- 2 ○宮崎恵美子, 古賀明美, 武富由美子, 山田春奈: ICU 在室中の不快感と退室2週間以内の不安および抑うつとの関連. 第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会. 2024, 6, 22-23.
- 3 ○松尾照美, 古賀明美, 武富由美子, 川久保 愛, 山田春奈: 小型睡眠脳波計を用いた入室直後と呼吸循環が安定した時期における重症患者の睡眠の特徴. 第51回日本集中治療医学会学術集会. 2024, 3, 14-16.
- 4 山田春奈, 藤田君支: 脳卒中患者における口腔衛生状態と急性期合併症の肺炎との関連. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.
- 5 山田春奈, 祖川倫太郎, 村川 徹, 溝口義人, 松岡綾華, 品田公太, 阪本雄一郎, 古賀明美: プレホスピタルケアに従事する看護師のPTSD発症および精神健康状態の実態と予測因子. 第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会. 2024, 6, 22-23.
- 6 ○祖川倫太郎, 西村 文, 宮本由貴, 松岡綾華, 山田春奈, 村川 徹, 溝口義人, 門司 晃, 島ノ江千里: ベンゾジアゼピン系薬の使用下における併用薬剤のせん妄発症シグナルへの影響. 第120回日本精神神経学会学術総会. 2024, 6, 20-22.
- 7 ○品田公太, 松岡綾華, 祖川倫太郎, 村川 徹, 溝口義人, 門司 晃, 島ノ江千里, 山田春奈, 小網博之, 阪本雄一郎: 外傷患者の入院中の総医療費にせん妄が与える影響. 第120回日本精神神経学会学術総会. 2024, 6, 20-22.
- 8 ○松岡綾華, 祖川倫太郎, 村川 徹, 溝口義人, 門司 晃, 島ノ江千里, 品田公太, 山田春奈, 小網博之, 阪本雄一郎: オレキシン受容体拮抗薬がせん妄持続期間に及ぼす影響の検証. 第120回日本

精神神経学会学術総会. 2024, 6, 20-22.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	古賀 明美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	集中治療室における重症患者の睡眠障害の解明ー脳波分析を用いた基礎的研究ー	650 (640)
教 授	古賀 明美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	プレホスピタルケアに従事する看護師の PTSD 発症予防策の構築に向けた基礎的研究	50 (38)
教 授	古賀 明美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	救急集中治療室に入室した患者家族のメンタルヘルス構築に向けた縦断的研究	0
准教授	武富由美子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	救急集中治療室に入室した患者家族のメンタルヘルス構築に向けた縦断的研究	650
准教授	武富由美子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	集中治療室における重症患者の睡眠障害の解明ー脳波分析を用いた基礎的研究ー	50
助 教	山田 春奈	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	プレホスピタルケアに従事する看護師の PTSD 発症予防策の構築に向けた基礎的研究	120
助 教	山田 春奈	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	救急集中治療室に入室した患者家族のメンタルヘルス構築に向けた縦断的研究	0

※ () は繰越金で外数

慢性期看護学領域

原著論文

- 1 川久保 愛, 古賀明美, 江口有一郎: 看護教員による肝炎医療コーディネーター研修を活かした「慢性肝疾患患者への看護」に関する講義の教育効果. 肝臓, 65, 4, 172-178, 2024, 4.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Megumi Kawakubo, Yasuko Shimizu, Yuichiro Eguchi: Self-Care of Japanese Patients with De-compensated Cirrhosis. The 33rd Annual Meeting of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL). 2024, 3, 27-31. Hepatology International Volume 18, Issue 1 supplement March 2024. S744.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
助 教	川久保 愛	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	多職種協働を促進する重度肝硬変患者に対する看護支援ガイドの開発	910
助 教	川久保 愛	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	集中治療室における重症患者の睡眠障害の解明－脳波分析を用いた基礎的研究－	0
助 教	川久保 愛	厚生労働行政推進調査事業費		2	多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究	300

老年看護学領域

原著論文

- 1 *Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Harri Sintonen, Heidi Siira, Yuriko Matsunaga-Myoji, Yasuko Tabuchi, Pirjo Kaakinen, Maria Kääriäinen, Kimie Fujita: Psychometric properties of Japanese version 15D and cultural characteristics of quality of life undergoing patients with hip and knee arthroplasty. International journal of orthopaedic and trauma nursing. 55 101138-101138, 2024, 11.
- 2 *Yu Yamaguchi, Yuriko Matsunaga-Myoji, Kimie Fujita: Advanced practice nurse competencies to practice in emergency and critical care settings: A scoping review. International journal of nursing practice. 30(4): e13205, 2024, 8.
- 3 Kazuko Muroya, Yasuko Tabuchi, Yuki Kumagai, Maiko Sakamoto, Tsukasa Tajima: Factors Contributing to Well-Being in Japanese Community-Dwelling Older Adults Who Experienced Spousal Bereavement. Research in Gerontological Nursing 17(3), 2024, 3.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 松永由理子, 田中さとみ, 藤田君支：婦人科がん治療後で続発性リンパ浮腫がある患者の加速度計による座位行動・身体活動量の評価. 第43回日本看護科学学会. 2023, 12.
- 2 *松村美奈, 藤田君支, 松永由理子：Exercise Self-Efficacy Scale (ESES) の日本語版の信頼性・妥当性の評価. 第43回日本看護科学学会. 2023, 12.

地方規模の学会

- 1 *森園久美, 田淵康子, 室屋和子, 鈴鹿綾子, 中島洋子：新型コロナウイルス感染症対策による自粛生活の長期化が地域で暮らす高齢者へ与えた影響の実態. 第36回日本看護研究学会 中国・四国地方会. 2024, 3, 17.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	松永由理子	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証	650
教 授	松永由理子	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	COPD 患者の身体活動性向上へむけた集団参加型遠隔医療プログラムの構築	50
教 授	松永由理子	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	慢性閉塞性肺疾患患者の自己管理能力における精神・心理的特性の実践的分析	0
客 員 研究員	田 淵 康子	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	Dying process の効果的な説明に関するケアモデル開発	20

学術（学会）賞

職 名	氏 名	学術（学会）賞名	受 賞 課 題
教授, 客員研究員 (R 6 年 3 月～)	Kanako Yakushiji Kimie Fujita Yasuko Tabuchi Yuriko Matsunaga-Myoji Satomi Tanaka Masaaki Mawatari	日本看護科学学会 第23回学術論文奨励賞	Long-term health-related quality of life of total hip arthroplasty patients and cost-effectiveness analysis in the Japanese universal health insurance system.

公衆衛生看護学領域

原著論文

- 1 Rika Matsuo, Kimie Fujita, Mami Miyazono, Keiko Miyasaka, Tomi Yamanaka, Kanakako Yakushiji, Atsushi Nagai: Validating the short-version European Health Literacy Survey Questionnaire for community-dwelling older adults in Japan. Health promotion international, 39(4), daae105, 2024, 8.
- 2 田口友美：介護予防体操に促進する音楽を付加して行く中で理学療法士に生じた意識変化のプロセス～複線径路・等至性モデル（Trajectory Equifinality Model）による検討. 対人援助学研究学会誌, Vol. 15, 1-10, 2024, 4.

症例報告

- 1 *横山徹爾, 茂木りほ, 吹田 晋, 守田孝恵, 嶋津多恵子, 山田小織, 桐生育恵, 小野聡枝, 兼田雅代, 谷本有美子：中堅期保健師におけるプリセプター支援の方法や管理期に向けた人材育成体制の検討. 令和 5 年度地域保健総合推進事業報告書, 1-80, 2024, 3.
- 2 *松原三智子, 山田小織, 伊木智子, 入野了士, 草野恵美子, 氏原将奈, 塩川幸子, 高橋郁子, 田場真由美, 萩原智代, 岩本里織, 大木幸子, 滝澤寛子, 長谷川美香：活動領域に拠らない共通の公衆衛生看護技術の明確化. 保健師教育 8(1), 18-30, 2024, 5.

- 3 松尾里香, 宮園真美, 宮坂恵子, 山中 富, 近松裕子, 永井 淳: ヘルスリテラシー教育プログラムによる口腔ステータス向上の検討について. 地域ケアリング 26(2), 48-50, 2024, 2.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *Yoshiko S, Kumi A, Saori Y: National Survey of the Intake of Folic Acid Supplements by Japanese Women from Preconception to the End of Pregnancy, Report-1. 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2024). 2024, 3, 6-7. Abstract No. 1317.
- 2 Saori Y, Wakako M, Yusuke U, Haruka Y: Changes in Workers' Health Consciousness Toward Dietary Behavior Improvement Programs: Measurement of Urinary Na/K Ratio and Estimated Vegetable Intake Levels. 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2024). 2024, 3, 6-7. Abstract No. 1066.
- 3 Saori Y, Kazue M, Takae M, Mihoko K: Development of Start Book, a Human Resource Development Tool, for Newly Appointed Public Health Nurses and Preceptors. 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2024). 2024, 3, 6-7. Abstract No. 1076.

国内全国規模の学会

- 1 *福田知恵, 山田小織: 勤労男性における超音波骨密度と生活習慣の関連. 第12回日本公衆衛生看護学会. 2024, 1, 6-7.
- 2 田口友美, 梅崎京子, 井手絵里子, 矢野利香: 地域の失語症サロンにおける音楽療法の実践報告. 第24回日本音楽療法学術大会. 2024, 9, 28-29.

地方規模の学会

- 1 田口友美, 峰松一茂, 梅崎正博, 辻 奈美: 佐賀県における地域リハビリテーション支援活動に関する理学療法士の実態調査. 第31回佐賀県理学療法士学術大会, 29ページ. 2024, 2, 4.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	山田 小織	科学研究費	基盤研究(C)	1	保健師の保健事業評価遂行能力を高める ICT・シミュレーション教育プログラムの開発	780
教 授	山田 小織	科学研究費	基盤研究(C)	2	精神担当保健師のための「同僚と10分で困難事例対応能力を向上させる業務モデル」	0
教 授	山田 小織	科学研究費	基盤研究(C)	1	新人保健師の自己成長感獲得を目指した実用重視型プリセプターシッププログラムの開発	0
教 授	山田 小織	科学研究費	基盤研究(C)	2	公衆衛生看護（保健師）業務において個別課題から地域課題へ展開する OJT モデルの開発	300
教 授	山田 小織	科学研究費	基盤研究(C)	2	ICT 活用のヘルスリテラシー教育プログラムによる口腔ステータス向上の看護介入	100
講 師	松尾 里香	科学研究費	基盤研究(C)	1	ICT 活用のヘルスリテラシー教育プログラムによる口腔ステータス向上の看護介入	650
講 師	松尾 里香	科学研究費	基盤研究(B)	2	高齢者のオーラルフレイルを予防する在宅口腔ケア・アセスメントガイドラインの作成	0
講 師	松尾 里香	科学研究費	基盤研究(C)	2	保健師の保健事業評価遂行能力を高める ICT・シミュレーション教育プログラムの開発	100
助 教	田口 友美	科学研究費	基盤研究(C)	2	高齢者における筋硬度減少をめざすストレッチのメカニズム解明	100